

## 浅野中学校

### 算数

限られた時間内で、どの問題も落とせない状況ですが、ケアレスミスや計算ミスなどに注意しながらスピードも必要となります。受験日までにトレーニングしておくことが大切です。圧倒的な計算力があること、図形の性質や立体図形を平面図形に置き換えて考えられること、数の仕組みや、ルールに基づいてきちんと数えられること、グラフの読み取りができることなどが重要となります。問題を解いていく過程の理解を心がけて学習しましょう。問題をきちんと読み、きちんと考えることができれば解ける問題を出題しています。

### 国語

2020 年度の①の漢字問題では、きちんと勉強してきた受験生であれば得点できるようなものを出題しました。②の小説と③の論説文では、理由を答える問題や、その説明として最も適切なものを選ぶ問題で、合格者と不合格者の正解率に差が生じました。この差が合否を分けたといえるでしょう。

### 理科

2020 年度の①の地学分野では、複数のデータや図をもとに考えられるようになってほしいとの思いから、問題を出題しました。②の生物分野では、植物と動物の分類や、特徴についての基本的な知識を押さえているかを重視しました。特に、問題集や参考書によく描かれている図については、特徴をつかんでいるかをポイントとしました。③の化学分野では、機械的に解法を覚えるのではなく、「なぜそのように考えられるのか」の理由を理解することが大切です。④の物理分野では、計算を伴う温度や比を求める問題が多く、計算力が合否を分けたといえます。毎年、理科4分野（物理・化学・生物・地学）は必ず出題されます。範囲が広く、勉強するのは大変だと思いますが、苦手分野をつくらないことが重要です。

### 社会

2020 年度の①の歴史分野では、幅広い年代にわたる歴史の知識を求めました。②の地理分野では、基礎的な知識・理解をもとに「考察」する問題が中心となりました。「何となく知っている」を追究することは、地理学習のおもしろさの一つであるといえます。③の公民分野では、問題文をよく読んだうえで考える必要のある問題を出題しました。覚えることはしっかり覚えるとともに、基本事項に基づいて柔軟に考える力を確認しました。④の論述問題では、資料の読み取りや、実数と割合の違いを表現できるかを問う問題と、社会問題の予測と対策に対し、日ごろから社会に目を向けているかを問う問題の2題を出題しました。

## 鎌倉学園中学校

### 算数

大問は 8 題で、標準的な問題が中心です。簡単な問題も難しい問題も、同じ 4 点の配点なので、簡単なものを正確に解くことが大切です。総合問題（大問④～⑧）は、(1) が基本問題で、(2) は (3) を解くためのヒントや注意になっている場合があります。出題傾向は大きくは変わらないので、過去の問題をよく演習してください。ただし、「算数選抜」については、すべてが記述式の問題です。考え方を図や途中式で記述してください。

### 国語

大問は 5 題で、①では教育漢字範囲内の漢字を、書き取りのみ 5 問出題します。②ではことわざや慣用表現、文法などの知識や運用について幅広く問います。③・④は長文読解で、③は小説・随筆または詩と、その鑑賞のような内容の文芸的文章です。④はものごとを論ずる内容の論理的文章で、3500 字程度です。解答形式は、記号選択式・抜き出し式・空欄補充が中心となっています。指示語・接続語、ことばの意味、心情や情景の読解、趣旨の読み取りなどを幅広く出題します。また、30～60 字程度の記述問題があります。設問の指示に従ってまとめるという問題を予定しています。⑤は文芸的文章や論理的文章とは違う分野の素材を扱って、思考力・表現力などをはかる問題とします。

### 理科

物理・化学・生物・地学の 4 分野から出題し、原則として 1 問 2 点（完答、あるいは 4 点配点もあり）です。選択問題と計算問題が中心ですが、用語記入もあります。実験や資料からの考察問題は時間配分に注意してください。物理は物の性質、力の分野などから出題します。化学は水溶液の性質、物の燃え方、物の性質などを勉強しておいてください。生物は植物・動物・昆虫のつくりとはたらきが中心です。地学は地層と岩石、火山、流水のはたらきなどです。

### 社会

配点は、地理・歴史が各 22 点、公民が 16 点です。簡単な論述問題もあります。地理は、日本の自然・産業・各地方を中心に出题しています。歴史は、古代から近現代まで、まんべんなく整理しておくといでしょう。年表を自分で作成してみるなどして、各時代の特徴をつかむことが大切です。人名・歴史的イベントは漢字指定となっています。公民では、近年起こった政治・社会問題も出題することがあります。日ごろから「現在、日本の政治や社会で何が問題になっているのか」と考えながら、ニュースや新聞に接するとよいでしょう。地理・歴史・公民ともに、時事問題に関心を持ちながら、基本事項を学習しておけば得点源になります。

## サレジオ学院中学校

### 算数

基礎的な知識、計算力、思考力を総合的に見ます。分野の偏りがないように、各分野からまんべんなく出題するように心がけています。大問は5題で、計算問題、図形、特殊算などを含みます。途中の過程や理由を書く問題もあるので、図や式やことばを用いて、考え方がわかるように解答してください。

### 国語

漢字問題では、豊かな言語感覚が日常生活で身につけていることが重要になります。読解問題では、論理展開や登場人物の心情の変化などが、しっかりと読解できているかを判断できる出題を心がけています。大問は、「漢字の書き取り」(10問)、「漢字の読み」(5問)、「説明的文章の読解問題」(7～8問程度)、「物語の読解問題」(7～8問程度)の4題です。誤字・脱字、引用の不正確なものは減点の対象です。記述で答える場合、結論だけではなく、説明の根拠、記述の的確さなどが採点基準となります。

### 理科

知識、計算、図表の分析などを幅広く問います。時間内に標準的な問題をきちんと解く力を求めています。大問は4題で、物理・化学・生物・地学の4分野から、ほぼ均等に出题します。身の回りの自然現象についての説明を読んで考える問題や、実験のグラフや表を読み取って規則性を見つけ、計算する問題などもあります。記号・語句・数値・記述などは指示された形式で答えてください。計算結果については、単位も含めて解答させる場合があります。

### 社会

基本的な問題を中心に、基礎力と組み合わせた発展問題、興味・関心を問う実力問題を出題します。時事的な話題を含み、統計・資料や選択肢の文を読み取って考える問題もあります。また、2019年度より、地理・歴史・公民の3分野を大問1題に統合しました。配点は各分野ともほぼ均等で、75点満点であることに変更はありません。学校で学習することだけでなく、生活の場で得られる知識に関して出題することもあります。地名・人名・用語など漢字指定の問題が多くあります。その場合は、漢字の間違いや、かな文字での解答は減点の対象となります。

## 逗子開成中学校

### 算数

四則演算の正確さ、計算法則を用いて工夫して計算できるか、各分野の基本的事項が身についているか、その基本的事項を組み合わせた少し複雑な問題に対応できるような思考力・読解力を習得しているか、などを問います。なお、ことばや数式を用いて、論理的に自分の考えを表現する問題も必ず出題しています。そのような記述問題には慣れておいてください。

### 国語

漢字の読み書きや語句の意味などの語彙力、文章を論理的に把握する読解力、読み取った内容についてさまざまな観点から考える思考力、的確に説明する表現力などを問います。記述問題では、いかに部分点を取るかが重要です。

### 理科

物理・化学・生物・地学の各分野から偏りがないように出題しています。各分野の基礎力を十分に養ってください。また、環境問題や理科に関する時事問題を出す場合もあります。日ごろから科学に関心を持ち、ニュースや新聞などを通じて、現代社会で起きている科学的事項に触れ、基本的内容に関心を持ってもらいたいと思います。大問の前半部分の問いは、ほとんど基礎事項を問う内容です。ここでしっかり得点を取り、発展的内容の問いをできるだけ多く解くことが大切です。文章で答える記述問題では、キーワードを落とさぬよう注意してください。

### 社会

地理・歴史・公民の各分野から偏りなく、基本問題を中心に出題します。文章や統計データ（グラフ・表）を読み取る力、ある事象について知識を複合的に用いて考える力、重要語句を正確に書く力、筋道を立てて説明する力がどれくらいあるかを測ることができるよう作問しています。着実に各分野の基礎・基本を学習していくことが大切です。また、丸暗記ではなく、覚える語句にどのような意味があるのか、どのような事柄と関連しているのかを、日ごろから意識して学習しておいてください。

## 横浜中学校

### 算数

①は基本的な計算が10問で、②はさまざまな分野から小問9問を出題します。③は文章題です。途中式や考え方を書く設問では、たとえ答えに至らなくても部分点を与えることがあるので、必ず記入しておいてください。

### 国語

大問は4題が基本です。読解問題（文学的文章と説明的文章）が2題、漢字と語句（漢字検定5級程度）に関する問題が1題、100字の作文問題が1題です。作文問題では部分点があるので、完全でなくても必ず答えを書くようにしてください。

### 理科

大問は4題です。物理・化学・生物・地学の4分野からほぼ均等に出題します。複数の分野にまたがる問題（複合問題）を出題することもあります。基礎的知識の確認問題、図や表から答えを導き出す問題、実験・観察結果から考察させる問題、時事問題などです。すべての試験で出題範囲に偏りのないよう配慮しています。

### 社会

大問数は試験回で異なります。小学校で学習した地理・歴史・公民の基礎事項がしっかり理解できているかを問います。統計資料や地図、都道府県に関する問題、最近起こった大きな出来事（時事問題）はしっかり確認しておいてください。記号選択問題はありますが、記述問題も必ず出題します。特に、漢字で習った人名などは、漢字で書けるようにしておいてください。

※新型コロナウイルス感染症の影響による、出題範囲の変更や削減はありません。